

災害に備えて～もしものときに身の安全を守れる子供を育てる取組～

熊本県立球磨支援学校

本校では、平成28年熊本地震を受け、児童生徒がそのとき出来る最善の方法で、災害から身を守れるよう防災管理・防災教育を日々見直しています。



球磨支援学校「防災教育の3本柱」

<初期対応訓練>

- \*平成28年度より毎月実施
- 日時：毎月1回、様々な時刻に実施（5分程度）
- 内容：火災、地震、弾道ミサイル
- \*大まかな流れ（火災）
- ①非常ベル等の音を放送
- ②ハンカチ、袖等で口を覆い避難
- ③避難経路の確認・声かけ
- ④学部毎の人員確認

小学部重複学級



<避難訓練>

- \*上球磨消防署に協力を依頼
- \*学期に1度実施。2学期以降は、児童生徒職員に予告なしで実施予定。

小学部2年生



先生と一緒に身を守るよ！

緊急地震速報が聞こえたら、ダンゴムシ！

<引き渡し訓練>

- \*授業参観日に実施（本年度は7/7（土））
- \*地震避難訓練と併せて行い、地震発生から引き渡しまでの流れを実践。

訓練は「心の貯金」



受付

引き渡しカードを使用した受付・引き継ぎ



引き継ぎ

<備蓄・防災用品>

- \*児童生徒、職員全員が3食分の備蓄リュックを用意。
- \*防災ヘルメット、防災頭巾を児童生徒全員分用意。
- \*学校備蓄食糧を、「くましえん祭」のPTAバザーで販売。売上金で新たな食糧を購入するというサイクルを確立。

防災ヘルメット



個人備蓄



<防災教育における育成したい力>

- \*平成28年度より職員全員で作成。各種訓練時の児童生徒の様子から追記・改善。
- \*「知識・思考・判断」「身体の動き」「感情のコントロール」「社会貢献、支援者の基盤」「集団行動」5つの資質を5段階に分類。

例

| 1段階                 | 2段階                     | 3段階                       | 4段階                 | 5段階                        |
|---------------------|-------------------------|---------------------------|---------------------|----------------------------|
| 教師の声を聞いて安心することができる。 | 教師の足して、落ち着く方法をとることができる。 | 自分が落ち着く方法を知り、行動に移すことができる。 | 自分で落ち着く方法をとることができる。 | 自分で状況を理解し、落ち着く方法をとることができる。 |